


## 自然観察会報告書

日 時	2012年10月7日(日) 9:00~11:40	天気	晴れ
場 所	主要地方道南濃北勢線沿い		
参加者	3人(近藤、中才、水野、榎田)	記録	榎田
ルート	羽島温泉近くの神明社→主要地方道南濃北勢線沿い3か所		
観察内容	<p>・南濃北勢線へ行く途中、彼岸花がまだよく咲いていたので羽島温泉近くの神明社に立ち寄った。今年はどこもヒガンバナの開花が1週間ほど遅れているようだ。神明社の東側の花はほとんど開花が終わっていたが、西側は見頃であった。</p> <p>・キンミズヒキは葉の形が大小不揃いの5~9枚の小葉からなる奇数羽状複葉でおもしろい。 → </p> <p>・平地ではイヌタデをよく見かけるが、山道に入っていくとハナタデが見られるようになってくる。イヌタデより花がまばらな感じがするので、別名のヤブタデという名のほうがよく似合う。</p> <p>・イタドリは、雌雄異株で今は雌株の実がよく目立つ。</p> <p>・スズカアザミ、オトコエシ、アオツヅラフジ、ノリウツギなど祖父江では見かけない草木も多い。</p> <p>・ニホンミツバチの巣箱が置いてあるところでは、たくさんのジョロウグモが巣を張っていて、巣箱を出入りするミツバチが被害にあっていた。</p> <p>・西洋ミツバチとニホンミツバチの違いは腹部の縞模様であり、巣箱にいるハチはニホンミツバチであることを確かめた。</p> <p>・トウバナかと思われる草の実の部分に虫こぶがたくさんついていた。</p> <p>・ヤブマオの葉の形がいろいろ違っている。</p> <p>・アリタソウは特徴のあるにおいを出す。</p>		
その他の生物	<p><b>花や実</b> ヒヨドリバナ、ヨモギ、ノコンギク、ヤブマオ、ヒガンバナ、カナムグラ、アリタソウ、クサギ、イタドリ、キンミズヒキ、クワクサ、メヒシバ、ススキ、イヌタデ、チヂミザサ、トウバナ、コセンダングサ、ムラサキエノコロ、キツネノマゴ、コブナグサ、ツククサ、イノコヅチ、スズカアザミ、スズメウリ、イヌガラシ、ヤマガキ、ウツギ、ヤマコウバシ、オトコエシ、エノコログサ、センニンソウ、アメリカセンダングサ、アカソ、クズ、イノモトソウ、オニヤブソテツ、アオツヅラフジ、ウリカエデ、ハナタデ、ゲンノショウコ、シロダモ、ヨウシュヤマゴボウ、ヤブタバコ、タチドコロ、ハルノノゲシ、ノリウツギ</p> <p><b>虫</b> シャクガの幼虫、ニホンミツバチ、</p> <p><b>その他</b> ジョロウグモ、ヒヨドリ、</p>		
感 想	<p>・庭田山頂公園をめざして行ったが、三重県側の道路が通行できないとの案内があった。最近特に山も街も台風の被害を受けやすくなっているような気がする。</p> <p>・10月とはいえ、まだ暑さを感じるが、草木は実をつけ確実に季節が進行していることが感じられた。</p>		